

「地域づくりの目標」に関連するデータ

- ①日本の市区町村別将来人口推計(平成 20 年 12 月推計)
(平成 20 年 12 月 国立社会保障・人口問題研究所)…P1
- ②昼間人口・通勤、通学者状況(静岡県統計年鑑 平成 22 年度) …P4
- ③静岡県総合計画
富国有徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン 基本構想
(静岡県 平成 23 年 3 月) …P5

日本の市区町村別将来推計人口

(平成 20 年 12 月推計)

—平成 17(2005)～47(2035)年—

平成 20 年 12 月

国立社会保障・人口問題研究所

人口構造研究部

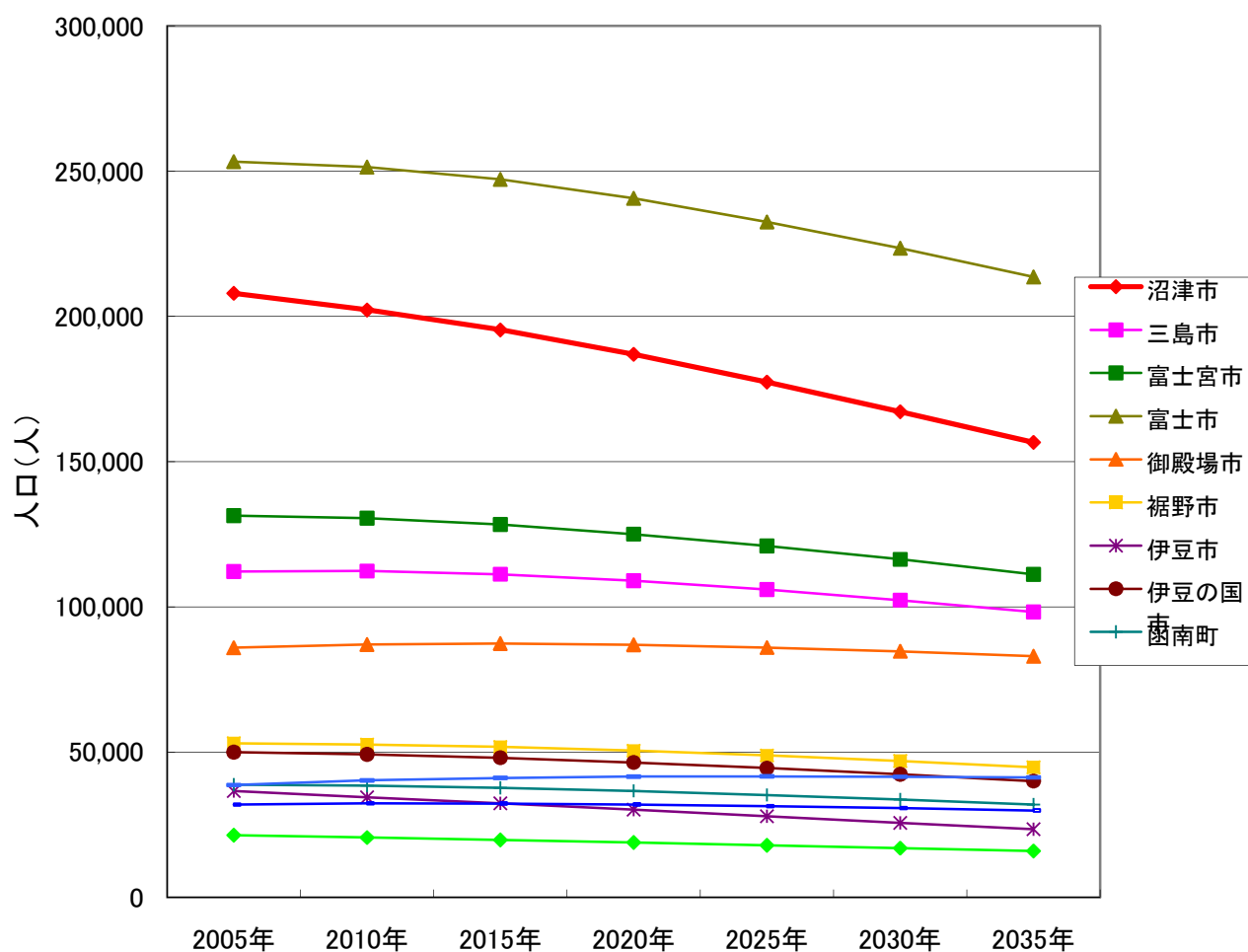
03(3595)2984 内線 4461

<http://www.ipss.go.jp/>

市町別将来推計人口

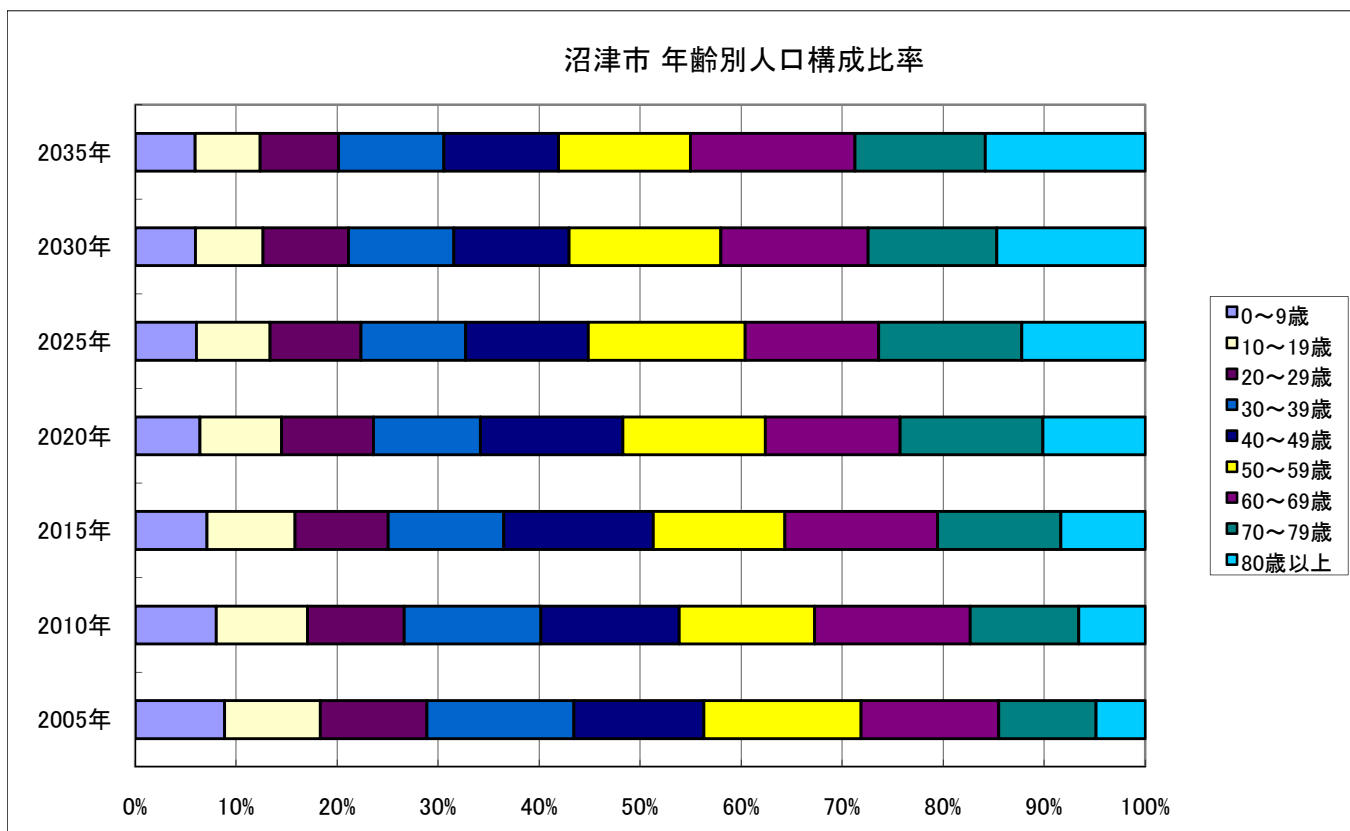
	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
沼津市	208,005	202,270	195,419	186,969	177,438	167,254	156,688
三島市	112,241	112,382	111,276	109,066	106,000	102,360	98,276
富士宮市	131,476	130,603	128,381	125,074	121,012	116,411	111,235
富士市	253,297	251,423	247,170	240,658	232,562	223,505	213,616
御殿場市	85,976	87,132	87,450	86,992	86,050	84,750	83,059
裾野市	53,062	52,685	51,831	50,527	48,911	47,008	44,834
伊豆市	36,627	34,524	32,435	30,219	27,959	25,712	23,500
伊豆の国市	50,011	49,297	48,117	46,502	44,560	42,396	40,081
函南町	38,803	38,494	37,783	36,702	35,304	33,699	31,975
清水町	31,961	32,412	32,363	32,034	31,477	30,784	29,979
長泉町	38,716	40,318	41,163	41,621	41,710	41,584	41,355
小山町	21,478	20,646	19,828	18,924	17,981	17,011	15,997

市町別将来推計人口



沼津市

総数	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
合計	208,005	202,270	195,419	186,969	177,438	167,254	156,688
0～9歳	18,377	16,224	13,853	11,953	10,767	9,972	9,297
10～19歳	19,727	18,258	17,082	15,159	12,935	11,174	10,074
20～29歳	21,992	19,398	18,020	17,002	15,928	14,186	12,176
30～39歳	30,201	27,354	22,342	19,806	18,428	17,425	16,318
40～49歳	26,830	27,729	28,943	26,372	21,538	19,095	17,773
50～59歳	32,318	27,097	25,417	26,368	27,542	25,094	20,501
60～69歳	28,404	31,142	29,562	24,912	23,454	24,384	25,503
70～79歳	20,021	21,771	23,881	26,451	25,173	21,312	20,218
80歳以上	10,130	13,297	16,319	18,945	21,672	24,612	24,827



(6) 昼間人口・通勤、
(平成17年)

単位:人

区 分	⑦+③+⑥ 昼間人口	従 業 者					通		
		A + ① 総 数	A 自市区町内 で 従 業	① 流 入 他市区町 及び他県 より	② 流 出 他市区町 及び他県 へ	③=①-② 流入・流出 人 口 差	通学者 B + ④ 総 数	B 自市区町内で通学	
								15歳以上	15歳未満
県 計	3,783,248	1,992,638	1,436,834	555,804	553,813	1,991	470,953	107,171	294,084
静 岡 市	727,210	380,079	257,039	123,040	103,773	19,267	95,798	23,654	51,195
葵 区	290,425	152,358	96,074	56,284	37,326	18,958	40,192	8,772	19,382
駿河区	212,082	112,632	69,809	42,823	39,395	3,428	28,399	7,221	14,999
清水区	224,703	115,089	91,156	23,933	27,052	△ 3,119	27,207	7,661	16,814
浜 松 市	806,370	426,446	386,501	39,945	37,286	2,659	104,060	34,049	63,282
沼 津 市	225,199	120,078	80,947	39,131	25,590	13,541	29,162	6,271	16,026
熱 海 市	42,721	22,824	16,161	6,663	3,945	2,718	2,936	365	2,236
三 島 市	108,048	50,624	29,404	21,220	26,738	△ 5,518	16,901	3,431	8,762
富士宮市	114,562	56,157	45,094	11,063	18,094	△ 7,031	15,485	3,615	9,916
伊 東 市	69,775	32,654	29,388	3,266	4,693	△ 1,427	6,842	1,567	5,106
島 田 市	90,582	46,843	34,203	12,640	17,819	△ 5,179	12,059	2,217	7,654
富 士 市	239,110	126,200	97,750	28,450	22,873	5,577	28,833	6,434	20,607
磐 田 市	171,302	94,802	63,324	31,478	29,893	1,585	20,103	4,636	13,086
焼 津 市	106,892	52,415	35,784	16,631	27,219	△ 10,588	12,226	1,696	9,247
掛 川 市	117,460	67,027	45,410	21,617	20,404	1,213	13,608	2,752	9,338
藤 枝 市	118,127	56,977	37,812	19,165	30,064	△ 10,899	16,389	2,816	10,332
御 殿 場 市	84,959	47,126	34,150	12,976	12,842	134	9,823	1,754	7,157
袋 井 市	81,870	44,607	26,266	18,341	19,201	△ 860	10,428	1,607	6,610
下 田 市	27,524	13,482	11,051	2,431	1,862	569	3,048	767	1,726
裾 野 市	54,927	31,628	17,111	14,517	11,465	3,052	5,628	702	4,298
湖 西 市	50,351	31,752	16,988	14,764	7,306	7,458	4,497	756	3,421
伊 豆 市	33,846	16,876	13,048	3,828	6,103	△ 2,275	3,874	645	2,789
御 前 崎 市	33,424	19,233	13,420	5,813	6,564	△ 751	3,374	494	2,562
菊 川 市	45,184	24,743	16,268	8,475	10,958	△ 2,483	6,307	975	3,702
伊豆の国市	47,583	23,833	15,053	8,780	11,217	△ 2,437	6,358	836	3,926
東伊豆町	14,757	7,403	6,065	1,338	1,654	△ 316	1,447	263	1,044
河 津 町	7,579	3,765	3,005	760	1,267	△ 507	597	45	552
南伊豆町	9,425	4,401	3,624	777	1,205	△ 428	791	112	633
松 崎 町	7,642	3,389	2,774	615	1,189	△ 574	925	197	547
西伊豆町	10,242	5,060	4,021	1,039	954	85	641	49	590
函 南 町	31,184	12,688	7,643	5,045	11,693	△ 6,648	3,946	385	3,148
清 水 町	31,565	16,445	6,582	9,863	9,825	38	3,796	460	2,802
長 泉 町	38,274	20,342	8,715	11,627	11,128	499	4,358	460	2,962
小 山 町	22,259	12,726	7,091	5,635	4,692	943	2,627	283	1,856
芝 川 町	7,871	3,610	1,915	1,695	3,125	△ 1,430	865	66	789

資料 総務省統計局 「平成17年国勢調査報告」

通学者状況
(国勢調査)

平成17年10月1日現在

学 者				⑥=④-⑤ 流入・流出 人 口 差	C 従業も通学 も し て い な い	⑦ 常住人口 (夜間人口) 労働力状態 「不詳」を含む	⑧ 年 齢 不 詳	⑦+⑧ 総 人 口
④ 流 入 他市区町及び他県より		⑤ 流 出 他市区町及び他県へ						
15歳以上	15歳未満	15歳以上	15歳未満					
64,470	5,228	70,534	5,234	△ 6,070	1,284,565	3,787,327	5,050	3,792,377
18,577	2,372	11,987	1,594	7,368	242,786	700,575	311	700,886
10,556	1,482	3,025	271	8,742	92,103	262,725	39	262,764
5,805	374	4,659	918	602	69,725	208,052	3	208,055
2,216	516	4,303	405	△ 1,976	80,958	229,798	269	230,067
6,379	350	3,948	67	2,714	266,114	800,997	3,035	804,032
6,298	567	3,070	137	3,658	74,184	208,000	5	208,005
325	10	986	84	△ 735	16,191	40,738	464	41,202
4,572	136	3,099	216	1,393	39,281	112,173	68	112,241
1,944	10	2,017	123	△ 186	42,457	121,779	-	121,779
156	13	836	44	△ 711	29,257	71,913	528	72,441
1,980	208	2,375	130	△ 317	31,440	96,078	-	96,078
1,705	87	4,485	235	△ 2,928	81,824	236,461	13	236,474
2,304	77	3,343	216	△ 1,178	54,419	170,895	4	170,899
1,267	16	3,578	333	△ 2,628	41,663	120,108	1	120,109
1,507	11	2,910	213	△ 1,605	36,015	117,852	5	117,857
3,047	194	3,159	229	△ 147	44,119	129,173	75	129,248
878	34	1,924	103	△ 1,115	27,527	85,940	36	85,976
2,038	173	2,349	117	△ 255	25,820	82,985	6	82,991
542	13	152	4	399	10,872	26,556	1	26,557
464	164	1,745	69	△ 1,186	17,197	53,061	1	53,062
294	26	1,345	65	△ 1,090	13,581	43,983	74	44,057
425	15	928	18	△ 506	13,046	36,627	-	36,627
312	6	1,050	361	△ 1,093	10,553	35,268	4	35,272
1,500	130	1,329	108	193	13,756	47,474	28	47,502
1,537	59	1,248	62	286	17,055	49,734	277	50,011
135	5	196	4	△ 60	5,896	15,133	32	15,165
-	-	211	6	△ 217	3,216	8,303	-	8,303
41	5	190	6	△ 150	4,229	10,003	-	10,003
179	2	66	3	112	3,326	8,104	-	8,104
1	1	214	3	△ 215	4,539	10,372	-	10,372
407	6	1,327	57	△ 971	14,425	38,803	-	38,803
524	10	881	84	△ 431	11,101	31,958	3	31,961
930	6	1,759	118	△ 941	13,215	38,716	-	38,716
484	4	633	17	△ 162	6,813	21,478	-	21,478
1	9	400	6	△ 396	3,382	9,697	-	9,697

静岡県総合計画

富国有徳の理想郷
“ふじのくに”のグランドデザイン

基本構想

平成 23 年 2 月

静岡県

2 地域圏

(1) 地域区分の考え方

東西の大都市圏の大きな影響を受けやすい環境下にあつて、将来に向けて自立的、持続的に発展可能な“ふじのくに”を支える、日本の真ん中で存在感を発揮する地域づくりを進める観点から、都市機能等の集積のメリット等を考慮し、政令指定都市並みの人口規模(70~100万人程度)を目安とし、次の視点に立って地域圏を設定する。

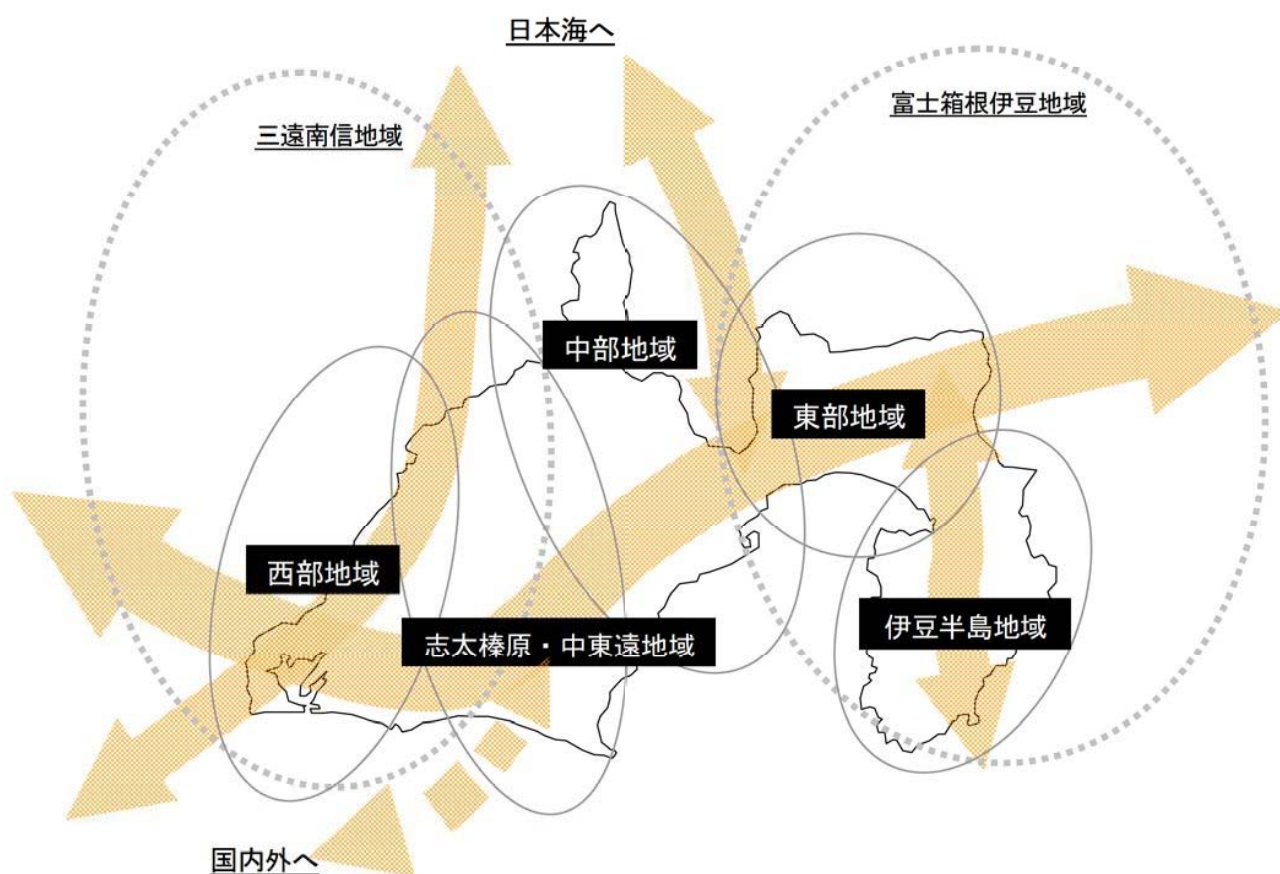
- 県と政令指定都市（静岡市、浜松市）との連携・役割分担による地域づくりの必要性
- 東部地域における都市間連携による広域的な地域づくりの必要性
- 富士山静岡空港周辺地域における新たな地域発展に向けた地域づくりの必要性
- 伊豆半島地域における観光等の特性を踏まえた地域振興の必要性

(2) 地域区分

(1)の考え方に基づき、次の5地域を目安とし、地域づくりを進める。

ただし、圏域は、様々な機能に応じて重複的かつ重層的に存在し、また、社会経済情勢や、交通・情報通信網、産業構造等の動向等に伴い絶えず変化するとともに、今後、道州制をはじめ、地域構造の変化につながる動きが活発化していくことが見込まれる。

したがって、地域区分は厳密に区切られるものとは捉えず、更なる広域化の動きに柔軟に対応し、ボーダレスな視点から広域的な施策を展開する。



高度情報通信ネットワーク社会への対応と観光交流圏の形成を図るため、光ファイバ等を利用したブロードバンドのサービスが利用可能な地域の拡大など情報通信基盤の整備を促進する。

（２）東部地域 『日本のシンボル富士山を世界との交流舞台とした健康交流都市圏』

人々を惹きつける日本一の富士山を仰ぎ、世界的な観光地を有する富士箱根伊豆地域の中核都市圏にふさわしい、商業、コンベンション、教育など高次都市機能の充実とともに、医療健康関連の研究開発や産業集積の促進による一大医療・健康ゾーンの形成を図り、世界との交流舞台となる魅力的な拠点地域を創造する。

また、地域内では、一体的な「100 万人都市圏」を形成するとともに、伊豆半島地域や県境を越えた周辺地域を含めた「200 万人都市圏」の形成も視野に入れ、広域的な交流・連携を促進する。

＜主な施策の基本方向＞

① 世界との交流舞台となる魅力ある健康交流都市圏の形成

日本のシンボル富士山を仰ぎ、首都圏に近接し、山梨県・神奈川県との交流の中心地域であるという環境を生かし、国内外からの交流人口の拡大を図り、世界との交流舞台となる一体的な都市圏を形成する。

コンベンション等の高次都市機能の集積により、圏域の求心力を高めるとともに、各主要都市は、駅周辺の都市機能の高度化と、医療健康関連産業の集積を図るなど、地域の個性を創出するまちづくりを行い、都市間等の効果的・効率的な機能分担・補完による魅力的な都市圏を形成する。

② ファルマバレーなど産学官の連携による活力ある産業づくり

健康や医療、医薬品産業の集積を図るファルマバレープロジェクトを一層推進するとともに、産学官の連携強化による共同研究の推進や人材育成等による地域企業の研究開発力の向上等を通じて、地域産業の高度化を図るほか、製紙等の地場産業においては付加価値の高いものづくりを促進する。

畜産物や富士ひのき、ひもの等の農林水産物のブランド化や、農林漁業と食品加工業、健康・医療産業、観光との結合による新たな取組を進め、地産地消を軸にした地域産業の活性化を促進する。

③ 富士山をはじめとする多彩な資源を生かした魅力づくり

富士山の世界文化遺産登録への取組を推進するとともに、その豊かな恵みを後世に継承するため、多様な生態系の保全等の様々な活動を展開する。

富士山麓等の名所や豊かな自然、歴史文化等を生かし、富士山ブランドの創出に向けた取組を促進する。

伊豆半島地域や、神奈川県、山梨県との交流・連携を強化し、「富士箱根伊豆交流圏構想」の着実な推進を図るとともに、富士山静岡空港を活用した周遊・滞在型の観光

ルートづくりなど、広域的な観光交流の取組を促進する。

④ 健康交流都市圏の形成を促進する交通・情報等のネットワーク化

新東名高速道路や東駿河湾環状道路、地域内の主要道路の整備を推進するとともに、鉄道駅及び駅周辺の機能強化や鉄道の輸送力の増強の働きかけ、バス等の利便性向上、田子の浦港の港湾機能の高度化など、交通ネットワークの充実を促進する。

高度情報通信ネットワーク社会への対応と健康交流都市圏の形成を図るため、光ファイバ等を利用したブロードバンドのサービスが利用可能な地域の拡大など情報通信基盤の整備を促進する。

(3) 中部地域 『日本の理想郷“ふじのくに”の県都にふさわしい中枢都市圏』

“ふじのくに”の県都にふさわしい、商業、情報、コンベンション、芸術文化など高次都市機能の充実や、大学のまちづくり、伝統に根ざした特色ある産業の育成等により広域的な求心力を高めるとともに、都市部から中山間地域まで含む自然豊かな政令指定都市としての特徴を生かしながら、ふじのくにの中枢機能を担う拠点地域を創造する。

また、ふじのくにの中枢都市圏として、県内や国内各地、海外とヒト、モノ、情報が行き交う多彩な広域交流を促進する。

<主な施策の基本方向>

① “ふじのくに”の県都として求心力のある中枢都市圏の形成

県都の中枢都市圏として求心力のある高次都市機能を備えた、国内外とヒト、モノ、情報が行き交う活力ある交流拠点の形成に向けて、駅周辺の商業・業務機能の高度化や、学・住一体の「カレッジタウン」など新たな都市拠点づくりを促進する。

また、高度医療やスポーツ拠点の充実を図るとともに、都市と中山間地域との交流により自然の潤いを享受できる都市圏を形成する。

② フーズ・サイエンスヒルズなど産学官の連携による活力ある産業づくり

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトを一層推進し、産学官の連携を強化することにより、茶、みかん、かつお等の地元産品の機能性等を活用した製品開発を進めるほか、地域産業の技術の高度化や付加価値の高いものづくりの促進、新たな産業の創出を図る。

サクラエビや茶、木材等の多彩な農林水産物のブランド力を強化するとともに、地域の大学や企業等との連携による新たな魅力づくりと地産地消の推進により、地域産業の活性化を促進する。

③ 駿河湾から南アルプスまでの多彩な資源を生かした魅力づくり

奥大井・南アルプス地域におけるエコ・ツーリズム等の推進や南アルプスの雄大な自然の保全を図る取組等を促進する。

駿河湾から南アルプスまでの多種多様な自然、東海道の町並み等の歴史文化、舞台芸術公園等の芸術文化など、特色ある地域資源を組み合わせた魅力づくりや、国内外